

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

2 3 1 自律的産業集積の推進

(主担当部局：農水商工部)

23101	ベンチャー的活動の支援	(農水商工部)
23102	戦略的な企業誘致	(農水商工部)
23103	研究開発機能の強化	(農水商工部)
23104	産業集積基盤の整備	(農水商工部)

< 施策の目的 >

- (対象) 時代を先導する産業分野の企業や意欲ある経営を行う事業者等が
- (意図) 地域の特色を生かした自律的な産業集積を構築し、活発に事業を展開している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年 度	H 1 6 年 度	H 1 7 年 度	H 1 8 年 度
製造品出荷額の全国 順位	目標値		1 0 位	1 0 位	1 0 位
	実績値	1 0 位	1 0 位		

県内の第 2 次産業の活動実績を表す製造品出荷額の相対的な位置を示す全国順位
(工業統計表)(16 年度の実績は、17 年度に発表された 15 年度数値に基づく順位)

< 平成 18 年度に残っている課題 >

創造的な企業活動を行うベンチャー企業等に対して、(財)三重県産業支援センターを中心にきめ細かな支援を行い、特に成長拡大を促進するための支援に取り組む必要があります。

誘致の受け皿となる産業用地が、特に北勢、伊賀地域において不足していることから、市町、企業等と連携してその対策を講じるとともに、クリスタルバレー構想やメディカルバレー構想等の誘致戦略に沿った企業の製造施設や研究開発施設の立地を促進し、県内の企業集積と産業の高度化をさらに進める必要があります。

製造業における研究開発機能の強化を進めるため、燃料電池分野の技術開発への県内中小企業の参画拡大、実証試験と平成 17 年 5 月に採択された N E D O (独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の燃料電池研究開発プロジェクトとの連携による取組のさらなる深化、新たな研究開発プロジェクトの国への提案などを進めることが必要となっています。

製造業における高付加価値分野や新たな分野への転換を促進するため、ネットワークを活用しながら、知識集約型産業構造の構築に向けた取組を進化させる必要があります。

< 平成 18 年度の施策の取組方向 >

ベンチャー企業等の成長段階に応じて、きめ細かな支援策を継続的に実施するとともに、特に成長拡大に重点をおいた支援に取り組めます。

市町、企業等と連携して企業ニーズに沿った産業用地の確保を図りつつ、企業立地については、企業の設備投資意欲の高いこの機を逃すことなく、県内により多くの企業立地や設備投資を誘導するため、バレー構想を軸とした戦略的な誘致活動並びに誘置活動を展開します。

燃料電池実証試験と N E D O の基礎研究との連携により、燃料電池本体及び周辺機器の開発への支援を進めることで、燃料電池分野への参画拡大と技術の高度化を図り、新たな国のプロジェクトへの提案につなげるとともに、県内外の産学官の協働により新たに設立した「三重県

水素エネルギー総合戦略会議」を主体として、環境と経済の両立を目指した燃料電池活用プロジェクトを国に提案するなど、水素エネルギー社会の構築と燃料電池・水素の研究開発拠点化を図ります。

「石油化学コンビナート再生アクションプログラム」の方向性を踏まえ、四日市臨海部工業地帯の石油化学産業などの素材産業群と周辺の加工組立産業との連携を促進するための方策を実施することで、技術の高度化、高付加価値製品の開発、新分野への展開を促し、当地域の産業構造を知識集約型へと転換を図ります。

<主な事業>

(重)ベンチャー企業創出促進事業【基本事業名：23101 ベンチャー的活動の支援】

当初予算額： 213,902 千円 209,674 千円

事業概要：(財)三重県産業支援センターを通じて、ベンチャー企業への支援をワンストップで提供する体制の整備など、ベンチャー的活動を活性化させる事業環境の整備を推進します。

(重)企業立地促進補助事業【基本事業名：23102 戦略的な企業誘致】

当初予算額： 96,325 千円 4,461,794 千円

事業概要：バレー構想関連産業等の将来的な成長が期待される分野に属する製造施設や研究開発施設の新増設に対して補助を行い、県内への立地や設備投資を誘導します。

(新)新しい産業立地基盤整備事業【基本事業名：23102 戦略的な企業誘致】

当初予算額： - 千円 4,000 千円

事業概要：企業ニーズに沿った産業用地の候補地調査を行うとともに、企業誘致支援のあり方について検討します。

(重)燃料電池実証試験等を活用したモデル地域づくり事業

【基本事業名：23103 研究開発機能の強化】

当初予算額： 215,757 千円 70,687 千円

事業概要：燃料電池の実証試験等への支援を行い、地域への燃料電池技術の集積を進めるとともに、「三重県水素エネルギー総合戦略会議」が主体となり、情報収集や発信などの取組を進めます。また、新たな国プロジェクトを誘致するとともに、新エネルギーや再生可能エネルギーを活用した水素エネルギー社会を構築するため、地域資源と新エネルギーをベストミックスした燃料電池活用モデルを検討し、さらなる研究開発を促進させます。

(重)知的ネットワーク形成事業【基本事業名：23104 産業集積基盤の整備】

当初予算額： 25,257 千円 19,617 千円

事業概要：「石油化学コンビナート再生アクションプログラム」の方向性を踏まえ、地元自治体や産業界と協働して、研究開発の促進を図るための仕組みづくりを検討するとともに、環境と経済の両立を可能とする持続可能な社会を構築するため、エコプロダクツの開発や新たな市場の掘り起し等、具体的な手法の検討などを行います。さらに、先端技術に関する研究開発の促進及び人材育成などに取り組みます。